

# 人権のこと、 どのくらい 知っとーと？



9/16 火

14:00~

上映時間87分

映画上映 ◀ 日本語字幕あり

ドキュメンタリー映画 「ハーフ」

あらすじ

映画「ハーフ」は日本人と外国人の親を持つ5人の若者たちの人生を通して、日本社会における多文化・多人種の現実とアイデンティティの在り方を探る作品である。日本の新生児の49人に1人が外国人との間に生まれている現在（2013年当時）、映画に登場するハーフたちは日本で生まれ育った人、日本での生活が初めての人、その両方の文化の間で揺れる人、などそれぞれ異なる立場や経験を持っている。彼らは外見や文化の違いからくる偏見や差別、家族や社会との関係、自分のルーツへの思い、といった様々な葛藤を抱えながら「日本人とは何か」「自分は誰なのか」という問いと向き合う。映画では本人たちのナレーションとインタビューを通じて、彼らの日常をリアルに映し出している。日本における多様性を受け入れる社会のあり方を考えるドキュメンタリーである。



会場 博多市民センター ホール

時間 上映14:00~(上映時間87分)/開場13:30~

定員 250名(会場先着順・申込不要)

9/25 木

14:00~

15:30

テーマ ▶ 手話通訳あり

## ヤングケアラーってなあに？ ~経験者からあなたへ~

講師

ヤングケアラー啓発支援団体 K&amp;代表

かんの まゆみ  
(ラフینگケアラー かんちゃん) **冠野 真弓 さん**

2006年岡山県立大学卒業後、長野県諏訪中央病院などで看護師として勤務。一般病棟・集中治療室・緩和ケア病棟などで幅広い経験を積む。その後、関西福祉大学で教員を務め、2020年より在宅診療専門クリニックの立ち上げに関わり、自宅暮らしを支える看護師として活動中。9歳から母のケアを始め、のちに父や姉のケアも担い、3人のケアを続ける現役のケアラーである。現在は家族のケアと仕事を両立しながら、任意団体K&の代表を務め、自身のヤングケアラーとしての経験をSNSで発信。「ヤングケアラーやケアラーになっても『大丈夫』な社会」を目指して、メディア出演や勉強会の講師など幅広く活動している。



会場 博多市民センター 4階 第1・第2会議室

時間 14:00~15:30

定員 100名(会場先着順・申込不要)

アクセス 西鉄バス：「山王公園前」「山王1丁目」下車 徒歩3分  
地下鉄：空港線「東比恵」下車 徒歩15分

※駐車場台数が少ないため、公共交通機関でお越しください。

問い合わせ 博多市民センター 福岡市博多区山王1丁目13-10  
TEL:092-472-5991 FAX:092-472-5952

Uni-Voice (ユニボイス)

日本視覚障がい情報普及支援協会が開発した音声コードです。専用アプリで読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。

